

# 基本目標 8

## 郷土の歴史・文化の保存と次世代への継承

### 施策 33 文化財の保護

#### 現状・課題

- 文化財は、歴史や文化、先祖の暮らしなどを今に伝える貴重な遺産です。文化財の範囲は幅広く、種類や保存方法等も様々ですが、市民がその価値をしっかりと認識し、適切な方法で継承していくことが大切です。
- 本市では、豊かな歴史や伝統を背景に、様々な国、県、市指定の文化財を有しています。このほか、田縣神社、間々観音など特色のある寺社が立地しています。
- 本市では、小牧市文化財保護条例に基づき教育委員会に「小牧市文化財保護審議会」を設置し、小牧市の文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査・審議を行っています。
- 文化財の保護や保存、伝承活動については、所有者や保存会の負担は重く、適切な維持管理が難しくなっているケースもあります。

#### 具体的な取組

取組	内容	担当課
文化財の指定・保護	文化財保護審議会において、新たに指定すべき文化財を見出す調査を行い、指定・保護を進めます。	文化財課
埋蔵文化財の調査・記録保存	埋蔵文化財の貴重な情報を得るため、周知の埋蔵文化財包蔵地内で開発がある場合は、適正な調査・記録保存を行います。	文化財課
文化財の修理等への必要な助成	市指定文化財所有者等に対し、文化財の修理・復元・伝承活動等に必要な助成を行います。	文化財課



釈迦涅槃図（部分）



田縣神社豊年祭の御輿行列（お練り）

## 施策 34 歴史・文化財・生活文化についての啓発・活用

### 現状・課題

- 本市では、歴史・文化財等に関する市民向けの各種講座を開催することにより、市民の歴史に関する興味・関心を高める取組を進めています。
- 古文書講座や歴史講座の受講者は高齢者が多く、また受講者が固定化されている傾向がみられます。このため、市内の文化財に対する意識啓発を図るよう、若い世代や中高生、小学生、親子を対象にした講座を開催しています。
- 市民から農機具や生活用具等の民俗資料の寄贈を受けていますが、十分な資料の整理ができておらず、また収納や公開のためのスペースが無いなどの問題があり、活用には至っていません。

### 具体的な取組

取組	内容	担当課
古文書・歴史に関する講座等の開催	古文書や歴史に関する講座、文化財巡り等を開催します。若い世代が興味を持てるよう、内容の充実に努めます。	文化財課
文化財啓発イベントの開催	小中学生を対象に、小牧の歴史や文化をテーマとした検定や講座を行ったりする等、郷土への誇りや愛着を高めます。	文化財課
民俗資料の整理・活用	収集した民俗資料の整理を行います。また、企画展示の開催等、民俗資料の活用方法について検討します。	文化財課
文化財の紹介	文化財の価値を知り、理解を深めるため、文化財関連書籍や文化財マップ等の作成・配布、市ホームページへの掲載、現地に案内看板を設置するなどします。	文化財課・小牧山課



寄贈を受けた民俗資料



文化財パンフレット

## 施策 35 小牧山<sup>\*</sup>の整備・活用

### 現状・課題

- 小牧山<sup>\*</sup>は中心市街地の西に位置する国指定史跡で、市民からはお花見やハイキングなどの憩いの場として親しまれています。また、戦国時代に織田信長が居城を築いたことや、小牧・長久手の戦いの主陣地となるなど、歴史的にも価値がある場所となっています。
- 令和2年3月に、史跡小牧山の保存管理・活用・整備・運営体制の整備の最上位計画となる「史跡小牧山保存活用計画」を策定しました。今後はこの計画に基づき、貴重な歴史遺産である史跡小牧山の整備・活用を行うとともに、史跡小牧山に関わる既存の各計画の見直しや新たな計画の策定を行っていきます。
- 市では小牧山主郭地区等で発掘調査を行っています。その結果、徐々に小牧山城の姿が明らかになり、「近世城郭のルーツ」として、歴史的価値がさらに高まっています。
- 発掘調査の結果は、発掘調査報告書として取りまとめ公開するほか、小牧山城史跡情報館（れきしるこまき）での展示や、市ホームページ、SNS<sup>\*</sup>、現地説明会等を通じ、積極的に市内外に発信しています。

### 具体的な取組

取組	内容	担当課
主郭地区整備基本計画の推進	令和7年度の完成を目指し、小牧山主郭地区のうち、歴史館周辺の石垣復元等の史跡整備工事を進めます。	小牧山課
企画展等の開催による小牧山の歴史的価値や魅力の啓発	小牧山城史跡情報館（れきしるこまき）での企画展や講座、ワークショップ等の開催により、市内外の来館者に対し、小牧山の歴史的価値や魅力についての情報を広く発信します。	文化財課
関係機関との連携	小牧市観光協会や織田信長、小牧・長久手の戦いに関連する他市町等、関係機関と連携を行い、各種イベントの開催等を通じて、小牧山の持つ歴史的価値や魅力を市内外に情報発信します。	文化財課・小牧山課

## 施策 36 地域資源を生かしたふるさと学習の推進

### 現状・課題

○各学校では、それぞれ総合的な学習の時間等を活用し、地域と連携したふるさと学習を推進しています。また、市内の小中学校の社会科教諭を中心に構成された「小牧市文化財資料研究会」に企画・運営を委託し、こども向けの文化財啓発イベント等の事業を実施しています。

○歴史等に関するイベントは、その参加者の多くが高齢者となっているため、若い世代にも興味・関心を持ってもらえるような、こども向けイベント等の企画・実施を進めていく必要があります。

### 具体的な取組

取組	内容	担当課
郷土教育・ふるさと教育の推進	総合的な学習の時間等を活用し、地域の歴史や特徴等に関する学習を行います。また、地域人材を外部講師として招くなど、地域と密接につながった授業の展開を行います。さらに、地域の特色ある職業を体験し学ぶ職業人体験学習を実施します。	学校教育課
文化財啓発イベントの開催（再掲）	小中学生を対象に、小牧の歴史や文化をテーマとした検定や講座を行ったりする等、郷土への誇りや愛着を高めます。	文化財課



こまき検定

## 施策 37 市民や大学との協働による歴史・文化の継承活動の展開

### 現状・課題

- 地域の歴史・文化に根ざした祭りや民俗芸能などは、人々の手によって守り伝えられてきたものであり、次世代への継承にあたっては、伝承者の確保が欠かせません。しかし、全国的にも担い手の高齢化等によって、存続の危機や規模縮小を余儀なくされる例が見られます。本市においても全国の動向と同様に、保存会員の高齢化などによる担い手の不足が課題となっています。
- 愛知県指定天然記念物である「大草のマメナシ自生地」において、自然環境に関心を持つ個人、研究者、大学、民間団体等が、それぞれ保全活動に取り組んでいます。しかしながら、活動情報や調査成果の共有が図られていないといった課題があります。
- 大学などの専門機関の技術やノウハウを活用し、古文書や歴史に関する講座を開催するとともに、市内に残る古文書の調査や市民から寄贈を受けた民俗資料の整理を行っています。
- 本市の歴史・文化の保護・継承活動にあたって、歴史ガイドボランティア\*が解説等の活動をしています。今後も、連携しながら郷土の歴史を市民に伝える活動を進めていく必要があります。



マメナシの花

### 具体的な取組

取組	内容	担当課
地域の伝統文化・伝統芸能の保存・継承	伝統文化・伝統芸能の担い手の増加に向けて、市ホームページやパンフレット、書籍等で地域の伝統文化・伝統芸能をPRしていきます。また、指定文化財の保存・継承・公開事業を支援します。	文化財課
「大草マメナシ自生地」の保全	令和3年3月に策定した『愛知県指定天然記念物「大草のマメナシ自生地」保存活用計画書』に基づき、保全活動に取り組んでいる関係者間で情報を共有するための仕組みを検討していきます。	文化財課
古文書・歴史に関する講座等の開催（再掲）	古文書や歴史に関する講座、文化財巡り等を開催します。若い世代が興味を持てるよう、内容の充実に努めます。	文化財課
古文書や民具等の調査実施	大学など専門機関の技術やノウハウを活用し、古文書や民具等に関する調査をします。	文化財課
歴史ガイドボランティア <sup>※</sup> と連携した展示資料・文化財等の解説	小牧山城史跡情報館（れきしるこまき）、各種イベントなどにおいて、歴史ガイドボランティア <sup>※</sup> による展示資料や文化財等の解説を行います。	文化財課